

平成29年度 筑豊地区中学校総合体育大会 柔道大会要項

主催 筑豊地区中学校体育連盟
遠中地区各市町教育委員会

1 日 時

平成29年7月21日（金）・・・男女団体戦

受付	8時00分
体重計測	8時15分
	～9時00分
審判・監督会議	9時00分
開会式	9時15分
競技開始	9時30分

※表彰式終了後30分間個人戦
出場者の体重測定を行う。

平成29年7月22日（土）・・・男女個人戦

体重計測	8時15分
	～9時00分
審判・監督会議	9時00分
開始式	9時15分
競技開始	9時30分

2 会 場

岡垣町民武道館（岡垣町野間南4-1） TEL 093-282-6111

3 参加資格

- 筑豊地区中学校総合体育大会開催基準及び『特別規定』による。
- 引率・監督は出場校の校長・教員とする。コーチについては、出場校の教育職員とする。ただし、教育職員以外のコーチは、学校長が認め、筑豊地区中体連に登録し承認を受けた者とする。

4 参加制限

団 体		嘉飯	田川	遠中	直鞍	合計
	男子	4	1	6	3	14
	女子	オープン参加				

個 人		嘉飯	田川	遠中	直鞍	合計
	男子	5	2	6	3	16
	女子	オープン参加				

5 表 彰

男女とも団体戦は3位まで、個人戦は1位のみを表彰する。

6 県大会出場資格

団体戦は男女とも上位6位まで、個人戦は、各階級3位までが県大会出場の資格を得る。

7 申し込み

各地区専門部長がプロ編時にまとめて申し込みをする。

8 プログラム編成会議

- 日 時 7月14日（金）14:00～
- 場 所 中間市立中間東中学校
- 住 所 〒809-0023 中間市扇ヶ浦三丁目21番1号
- 連 絡 先 TEL 093-244-3533 Fax 093-244-3815
- そ の 他 各地区専門部長は、申込用紙をまとめて持参すること。

9 各地区専門部長

地区	氏名	学校名	学校住所	TEL	FAX	専門部長
田川	田中 司	後藤寺	〒 826-0025 田川市大黒町 11-69	0947-44-0087	0947-44-0166	
直鞍	森永 修三	直方二	〒 822-0002 直方市頓野 4082	0949-26-0657	0949-26-0659	
遠中	小早川 知徳	芦屋	〒 807-0113 芦屋町中ノ浜 10-74	093-223-0058	093-223-0511	
嘉飯	井上 邦治	山田	〒 821-0011 嘉麻市下山田 2	0948-52-0077	0948-52-0177	
遠中	戸川 博文	中間東	〒 809-0023 中間市扇ヶ浦 3-21-2	093-244-3533	093-244-3815	○

10 出場制限

[団体戦]

- (1) 男子チームの編成は、監督（校長・教員）1名、コーチ1名、選手7名以内とする。
女子チームの編成は、監督（校長・教員）1名、コーチ1名、選手4名以内とする。
監督・コーチは各学校よりそれぞれ1名以内とする。

[個人戦]

- (1) 男女共に体重別とし、男子8階級・女子8階級にわたる。
※階級〈男子〉50kg級 55kg級 60kg級、66kg級、73kg級、81kg級、90kg級、90kg超級
〈女子〉40kg級 44kg級 48kg級、52kg級、57kg級、63kg級、70kg級、70kg超級
- (2) 監督・コーチは各学校、それぞれ1名とする。

11 競技方法

[団体戦]

- (1) 参加14チームを4組に分け、各組でリーグ戦を行い、各組の1位・2位の計8チームによって決勝トーナメント戦を行う。
- (2) チーム間の勝敗は次のとおりとする。
- ① 勝者数の多い学校を勝ちとする。
 - ② ①で同等の場合は、「一本」もしくは、それと同等の勝ちによる勝者数の多い学校を勝ちとする。
 - ③ ②で同等の場合は「技あり」による勝者数の多い学校を勝ちとする。
 - ④ ③で同等の場合は「僅差」による勝者数の多い学校を勝ちとする。
 - ⑤ ④で同等の場合は、リーグ戦では「引き分け」とする。決勝トーナメント戦では、代表戦を行い必ず勝敗を決する。なお、代表戦に出場する選手は、チームの任意により1名を選出する。
- (3) リーグ戦の順位は次のとおりとする。
- ① 3勝、2勝1分、2勝1敗、1勝2分、1勝1敗1分、1勝2敗、3分、2分1敗、1分2敗、3敗の順とする。
 - ② ①で同等の場合は、リーグ戦を通じて勝者数の多い学校を上位とする。
 - ③ ②で同等の場合は、「一本」もしくはそれと同等の勝ちによる勝者数の多い学校を上位とする。
 - ④ ③で同等の場合は、リーグ戦を通じて「技あり」による勝者数の多い学校を上位とする。
 - ⑤ ④で同等の場合は、リーグ戦を通じて「僅差」による勝者数の多い学校を上位とする。
 - ⑥ ⑤で同等の場合は、リーグ戦を通じて敗者数の少ない学校を上位とする。
 - ⑦ ⑥で同等の場合は、リーグ戦を通じて「一本」もしくは、それと同等の勝ちによる敗者数の少ない学校を上位とする。
 - ⑧ ⑦で同等の場合は、リーグ戦を通じて「技あり」による敗者数の少ない学校を上位とする。
 - ⑨ ⑧で同等の場合は、リーグ戦を通じて「僅差」による敗者数の少ない学校を上位とする。
 - ⑩ ⑨で同等の場合は、代表戦（1名）により順位決定戦を行う。

[個人戦]

- (1) トーナメント方式によって行う。
- (2) 得点差が無い場合は、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。

12 競技規定

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定（2017年施行の新ルール）「少年大会申し合わせ事項」及び本大会の申し合わせ事項による。
- (2) 勝敗の判定基準は、団体戦においては、「一本」「技あり」又は「僅差（指導の差2以上）」とする。
個人戦においては、「一本」又は「技あり」以上とする。
- (3) 代表戦の判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本線で得点差がない場合、延長戦

(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様とする。

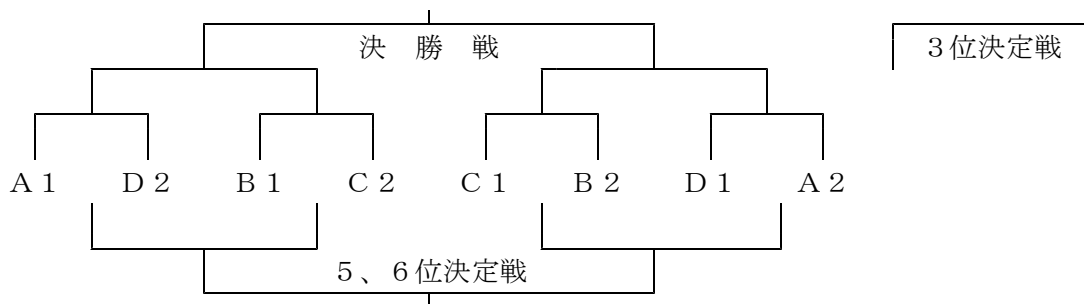
- (4) 優劣の成り立ちは以下のとおりとする。
{「一本」=「反則勝ち」>「技あり」>「僅差」}
- (5) 試合時間は、個人戦、団体戦ともに3分間とし、延長戦は無制限とする。
- (6) 競技規則に問題が起こった場合は、専門部会で協議する。
- (7) チーム編成(オーダー)は、体重順とし一番軽い者が先鋒、一番重い者が大将とする。
また、選手6、7(選手の4)を入れる場合も同じ。
(体重が同じ時は新たに入るものが先鋒に近い方とする)
- ① 試合は、選手5名(女子3名)の対抗戦とする。
- ② オーダーの変更は認めない。
- ③ 一度退いた選手の再出場は認めない。
- ④ すでに申込みをしている選手が事故のため変更するときは、大会開始前までに、これを認める。(変更届を学校長名(職印)で提出すること。)
※変更の手續きとして、すでに登録してある選手6、7(選手4)からの補充を優先に行い、新たに補充する選手が、選手6、7(選手4)に再登録をする。但し、最初から選手6、7(選手4)の登録をしていない場合は、その限りではない。
- ⑤ 欠員が生じた場合は、先鋒の方から空きとする。
- (8) 柔道衣の色は白色とし、女子の黒帯は、白線入りも可とする。
- (9) 柔道衣にゼッケンを着用して試合をする。(学校名・名字入り)
① 布地は白色とし、サイズは横30~35cm、縦25~30cmとする。
② 名字(姓)は上側2/3、学校名は下側1/3とする。
③ 書体は太字ゴシック体とする(明朝または楷書でもよい)。
④ 文字色は、男子は黒色、女子は濃い赤色とする。
⑤ 襟から5cm~10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。
- (10) 女子は、上衣の下に白色または白に近い色の半袖で無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。(全日本柔道連盟が定める規定・平成25年4月1日より施行)
- (11) 団体戦・個人戦出場選手は、指定された期日・時間帯に体重測定を必ず行うこと。
また、計測を受けなかったチーム・選手は、出場を辞退したものとする。
- (12) 柔道衣コントロールは、従来通りの方法で実施する。

13 申し合わせ事項

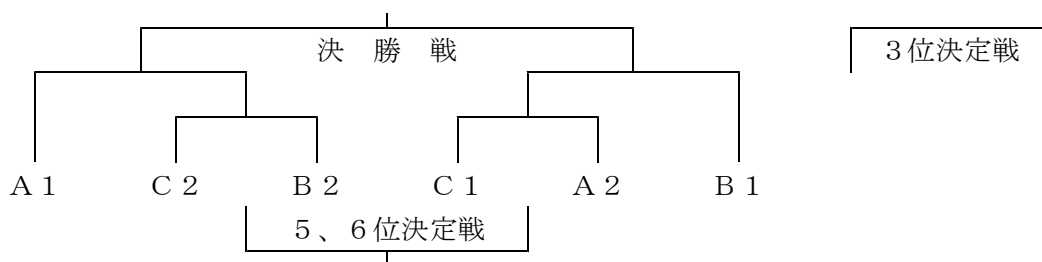
- (1) 服装・頭髪・まゆ毛等の乱れがある生徒については、各顧問が責任を持って試合前までに指導する。なお、改善が見られないようであれば、本大会に出場できない場合もあり得る。
- (2) 競技開始前にマナーチェックを行う。違反がある場合は、当該学校顧問、会長、専門部長と協議する。
- (3) AEDは入口横管理室に設置している。

14 組み合わせ

【男子決勝トーナメント】



【女子決勝トーナメント】



※ 団体戦・個人戦ともに組み合わせはプロ編時に行う。